



平成 24 年 4 月 5 日

各 位

会 社 名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(コード：3762、東証第二部)
問合せ先 企 画 部 長 森脇 喜生
(TEL. 03-5792-8601)

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社が クラウド対応の次世代ネットワーク機器ベンダーと代理店契約を締結

記

当社の連結子会社であるエヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社（以下「NCLC」 本社：東京都港区代表取締役社長：関根 尚）が、この度米国 Pica8（ピカエイト）社（Pica8 Inc. 本社：カリフォルニア州）と代理店契約を締結し、クラウド環境に柔軟に対応できる次世代ネットワーク機器の販売を開始しますので、添付のとおりお知らせいたします。

クラウドコンピューティングの普及が本格化している一方で、ネットワーク管理者は複雑かつ頻繁に変更を必要とするネットワーク機器の設定をその都度手動で対応してきました。Pica8 社はこの複雑かつ頻繁なネットワーク機器の設定変更を、次世代ネットワーク技術である「OpenFlow(オープンフロー)」に完全に対応することにより、これまでにない柔軟かつ迅速なネットワーク設定を実現し、ネットワーク管理者の負担を大幅に軽減します。また、Pica8 社は汎用的な部品と基本ソフトウェアを採用することにより他社同等製品と比べ、廉価で製品を提供することを実現しました。

以上

Press Release

2012年4月5日

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

NCLC、米 Pica8 社と代理店契約を締結 OpenFlow 完全対応データセンタグレードの L2 / L3 スイッチを販売開始

低価格とオープンテクノロジーで、クラウド時代のネットワークを革新

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 関根 尚、以下 NCLC)は、米国 Pica8 (ピカエイト)社(Pica8 Inc. 本社:カリフォルニア州)と代理店契約を締結し、OpenFlow 完全対応の L2 / L3 スイッチ「Pronto(プロント)」シリーズを販売開始します。

Pronto シリーズは、高性能のコマーシャルチップと OSS(オープンソースソフトウェア)を採用し、パフォーマンス、拡張性、安定性を向上するために独自に最適化することで、サービスレベルや信頼性を確保しながら、圧倒的な低価格化を実現しています。また、仮想化 / クラウド時代の新しいネットワーク技術として注目される OpenFlow に完全対応しています。

●クラウドの発展を阻むネットワークの課題

クラウドコンピューティングの活用が本格化する中、サーバやストレージなどの IT リソースをニーズに応じて柔軟かつ迅速に確保できるのに対して、ルータや VLAN、ファイアウォールなど多数の機器が混在するネットワーク環境は手動で設定変更するのが一般的で、ダイナミックに変化するビジネスニーズにネットワークインフラが追従できていないのが現状です。

また、仮想化技術によりサーバの集積度が上がり、データセンタ内のトラフィックが急増していることから、パフォーマンスの向上が求められる一方で、ネットワーク全体の TCO(総所有コスト)の低減、コスト効率の向上が課題となっています。

クラウドコンピューティングのメリットをさらに拡大し、ビジネスの発展に寄与させるためには、このような課題を解決する斬新な技術や新たなアーキテクチャを採用することで、ネットワーク基盤をクラウドコンピューティングのための新たなインフラへと変革する必要があります。

●商用チップと OSS で、低価格で高性能なコモディティスイッチを提供

Pica8 社は、ネットワーク業界に革新をもたらすためには、ネットワークをコモディティ化することが必要であるという考えから、低価格かつオープンであることを重視しています。また、ネットワークを仮想化する SDN (Software Defined Network)を見据えて、技術面でも、マーケティングの観点でも、ネットワークの今後の新しい展開に対応できるような設計思想で製品開発に取り組んでいます。

Pica8 の Pronto シリーズは、Cisco 社や Juniper 社が採用しているものと同等の高性能コマーシャルチップ (Broadcom Trident+ チップセット)と、OSS を積極的に活用することで、データセンタ向けに開発された同等スペックの他社 ToR (Top of Rack) 製品と比較して、20~60%低価格を実現した L2 / L3 スイッチです。

Pronto シリーズのソフトウェア環境である「PicOS(ピコス)」は、Linux OS (Kernel 2.6) をベースシステムとして、OSS のネットワーク OS である XORP をプロトコルスタックとして採用しています。XORP は OSS のネットワーク OS の中でもモジュール化と拡張が容易であり、Pica8 は、データセンタに必要な機能に特化して XORP を機能拡張し、パフォーマンスと安定性を向上させた「XORPLUS OS(ゾープラス OS)」を Pronto シリーズに搭載しています。

また、マルチプロセスが可能な Linux を採用していることで、制御用に搭載しているデュアルコア CPU のパフォーマンスを最大限に生かすことができ、スイッチング性能をさらに向上させています。

Pica8 社の創業者で CEO の James Liao 氏は、日本市場に対して次のようにコメントを寄せています。「スイッチとルータは、あらゆる IT オペレーション基盤において重要なコンポーネントですが、従来はすべてが組み込み型のクローズドシステムだったことが革新をはばむ大きな障壁となっていました。その結果、ネットワーク業界は数社の既存ベンダが占有し、技術が遅れをとっていました。われわれは、ネットワーク業界が変わる時だと確信しており、オープンにすることがその最初のステップです。われわれは、ネットワーク業界の現行のプライス/パフォーマンスのバリアを破壊するために、高品質のオープンソフトウェアをコモディティスイッチとともに提供することをコミットします。」

● ネットワークの仮想化を実現する SDN / OpenFlow でのリーダーシップ

サーバやトラフィックの状態に合わせてネットワーク全体を動的に組み替えられるように、スイッチならびにネットワーク全体をプログラマブルにする SDN (Software Defined Network) を実現する新しいネットワーク制御技術として OpenFlow が注目されています。

Pica8 社は、SDN を推進する業界団体である Open Networking Foundation の早期からメンバーとして、OpenFlow の仕様策定や検証に係り、Pronto シリーズの「PicOS」を OpenFlow に完全対応させています。また、Pica8 社は、多くの米国大学のキャンパスネットワークをはじめ、多数の OpenFlow 実証プロジェクトにおいて製品や技術支援を提供しながら、構築ノウハウを蓄積しており、OpenFlow 導入を検討するユーザの課題を解決するのに役立つ情報を今後公開していく計画を持っており、実環境での導入の実現に寄与し、普及を加速させることをコミットしています。

また、NCLC も、既に Open Networking Foundation に参加しており、今後の技術動向をいち早くキャッチして、次世代ネットワークの実現に貢献していきたい考えです。さらに、SDN や OpenFlow に関する専門サイトを運営し、最新情報の発信や、関係者の情報交換の場を提供することで、業界をリードしていきます。

Pronto シリーズは、10GE (SFP+) 48 ポートと 40GE (QSFP) 4 ポートのアップリンクを搭載するハイエンドモデル「3920」、3920 からアップリンクを排除し、高密度 10GE ポートを高いコストパフォーマンスで提供する「3780」、1GE (RJ45) 48 ポートと 10GE (SFP+) 4 ポートのアップリンクを実装する「3290」、3290 に二重化電源を搭載した「3295」の全 4 モデルがあります。

いずれも 19 インチラック対応 1U サイズ、最大消費電力 130W (3290) の省エネ設計で、価格は、323,000 円 (税別) ~ です。NCLC は、今後、日本国内のパートナーと販売契約を締結し、初年度、「3920」と「3295」を合わせて 1,000 台、「3780」と「3290」を合わせて 600 台の販売を予定しています。

Pica8 の Pronto スイッチは、昨年、株式会社 NTT データが実施した OpenFlow を活用したクラウド環境構築の検証実験においても使用され、高く評価されています。

今回の、NCLC による Pica8 製品の日本市場における販売開始について、株式会社 NTT データビジネスソリューション事業本部 ネットワークソリューションビジネスユニットの馬場達也氏は、次のようにコメントしています。

「昨年の実験では、当社で開発した OpenFlow コントローラから各社のスイッチを制御する環境を構築して有効性を確認しました。OpenFlow にいち早く対応した Pica8 社にも注目し、同実験においても使用しましたが、コストパフォーマンスと柔軟性の高さに優れた製品です。当社では、開発した OpenFlow コントローラをオープンソース統合運用管理ソフトウェア『Hinemos (ヒネモス)』のオプションとして販売していく計画ですが、ネットワークも含めたクラウド環境全体の仮想化と運用自動化を実現するために、Pica8 および NCLC が、強力なパートナーとなると期待しています。」

■ Pica8 「Pronto シリーズ」の販売に関して

販売開始： 2012 年 4 月 5 日

出荷開始： 2012 年 4 月 18 日(予定)

定 価： 「Pronto3290」 323,000 円

(消費税別) 「Pronto3295」 356,000 円

「Pronto3780」 1,212,000 円

「Pronto3920」 1,545,000 円

※ソフトウェアサポート、オンサイトサポートは、
別途「Support & Maintenance」費用が必要です(初年度から)。

販売目標： 初年度、「3920」と「3925」を合わせて 1,000 台、「3780」と「3290」を合わせて 600 台

■ Pica8 「Pronto シリーズ」の概要

◇XORPLUS OS の機能

- ・L2 スイッチ機能： STP/RSTP/MSTP, LACP, QoS, 802.1q VLAN, LLDP, ACL
- ・L3 スイッチ機能： OSPF/ECMP, RIP, PIM-SM, IGMP, IPv6
- ・OpenFlow スイッチ機能： OVS (Open vSwitch) 1.1 (OpenFlow 1.0 準拠)
- ・管理機能： VRRP, IPFIX, CLI, SNMP, TACACS AAA

◇製品モデル一覧

項目	Pronto 3290	Pronto 3295	Pronto 3780	Pronto 3920
10/100/1000BASE-Tポート (RJ-45コネクタ)	48	48	0	0
10Gbpsポート (SFP+)	4	4	48	48
40Gbpsポート (QSFP)	0	0	0	4
10/100/1000BASE-Tポート (RJ-45コネクタ) マネジメントポート用	2	1	1	1
シリアルインタフェース	1	1	1	1
重量	5.5kg	7.0kg	7.5kg	7.5kg
定格入力、最大消費電力	AC110-240V、130W	AC110-240V、350W	AC110-240V、350W	AC110-240V、350W
電源ユニット数	1	2	2	2
スイッチング能力	176Gbps	176Gbps	960Gbps	1,280Gbps
スイッチング遅延	平均8μsec (64bytes時)	平均8μsec (64bytes時)	平均1μsec (64bytes時)	1μsec以下 (64bytes時)
CPU	Freescall 8541 – 833Mhz	Freescall 8541 – 833Mhz	Freescall 8548	Freescall P2020
パケットバッファ	4MB (チップ内蔵)	4MB (チップ内蔵)	9MB (チップ内蔵)	9MB (チップ内蔵)
システムメモリ	DDR SDRAM 512MB	DDR SDRAM 512MB	DDR SDRAM 512MB	DDR SDRAM 1GB
Bootフラッシュ、Compactフラッシュ	32MB、2GB	32MB、2GB	32MB、2GB	32MB、2GB
MTBF	46,410時間	39,495時間	198,185時間	198,185時間
動作温度	0~50℃	0~50℃	0~45℃	0~45℃

■ Pica8 社について

<http://www.pica8.org/>

Pica8社 (Pica8 Inc.) は、スイッチおよびルータプラットフォームを完全にオープンにし、データセンターのネットワークに革新をもたらすことをビジョンに掲げて 2009 年に設立しました。デラウェア州に登録する Delaware カンパニーであり、本社はカリフォルニア州パロアルトにあり、開発センターは北京にあります。Pica8 が目指すのは、ネットワークスイッチ業界のコモディティ化であり低コスト化の実現であると共に、クラウド時代に相応しいソフトウェアによる柔軟で高速なネットワークプラットフォームの構築と運用環境を実現することです。

■ エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

<http://www.nclc.co.jp/>

エヌ・シー・エル・コミュニケーション(略称 NCLC)は、海外 IT 製品の輸入・販売・保守ならびにプロダクトインテグレーションを行うITの専門家集団です。1986年に設立し、セキュリティ、ネットワークストレージ、CRMを中心として、先進的かつユニークな製品・ソリューションを拡充しており、時代の潮流を見据えて、積極的に事業領域を拡大しています。

◇報道関係者 / 読者 お問い合わせ先

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

IBRM 事業部

TEL: 03-6229-8713 Email: ibrm@nclc.co.jp

※製品写真、スペック表、OS アーキテクチャ図などを以下からダウンロードいただけます

<http://www.nclc.co.jp/press/>

記載されているロゴ、会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。